

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ほっとルーム柴田 | | 公表日 | | R7年 3月 31日 | |
|----------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 0 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 3 | 2 | ・公休や欠勤者がいる時の補充、職員の確保が必要 ・介助が必要なお子さんもいるため、もう一人二人は職員がいてほしい。送迎も回せない時がある。 | 人員配置は適正に行われているが、支援の質の向上の為に職員の確保が必要と感じている。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や | 2 | 3 | ・玄関先スロープに屋根が必要。 ・屋上へのバリアフリー化が必要。 ・屋上にいけるお子さんが限られている。 | スロープに屋根を設置することを検討している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 0 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、 広く職員が参画しているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | 2 | ・上司とのミーティングの機会はあるが、その際に伝えられない内容もある（保護者の件等）・事業所内では意見交換できている。 | 事業所内で意見交換したことを上司と共有を図る機会を設けていく。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 2 | 3 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | 0 | ・ルームには定期的に行っている。 | ルーム内だけではなく法人内や外部研修にも参加する機会を確保していく。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こど | 5 | 0 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が | 5 | 0 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな | 5 | 0 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に | 5 | 0 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | 0 | ・立案に偏りがある。 | 立案に偏りが無いようチームでさらに話し合いを行っていく。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | 0 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | 0 | ・次の日に行っている。 | 今後も引き続きお子さん一人一人の様子を振り返り、話し合いと共有を行っていく。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | 0 | | | |
| 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | 0 | | | | |
| 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 4 | 1 | | | | |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5 | 0 | | | | |

